

平成 27 年度 事業報告

公益財団法人亀岡市体育協会は、「スポーツに親しみ、スポーツで笑顔、元気なスポーツの亀岡」の実現を目指し、市民スポーツの普及と振興並びに競技力の向上のための事業を推進し、市民の健全な心身の発達と明るく豊かな市民生活の形成に努めた。

また、「京都亀岡ハーフマラソン大会」を亀岡市、本協会と関係機関・団体と連携して実施し、スポーツによる賑わいのまちづくりに努めた。

【重点事項】

1 運営基盤の整備並びに体育協会の機能の充実

諸事業の推進に必要な財源を確保するため、賛助会員を募り財源確保に努めるとともに、本協会が所有するスポーツ用具についても、使用料を徴収し、補修、補充等の経費とした。

また、公益財団法人として、市民が広くスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を形成するための諸事業を展開した。

2 市民スポーツの振興

市制・体協 60 周年記念かめおか市民スポーツフェスティバル、市制・体協 60 周年記念第 64 回平和祭市民スポーツ大会、第 41 回亀岡市民駅伝競走大会や各スポーツ教室を開催し、生涯スポーツの推進を積極的に行うとともに、市民の健康増進に努めた。

また、多様化する市民スポーツ活動に対応し、総合型地域スポーツクラブの定着に向けての支援を行った。

3 競技力の向上

第 38 回京都府民総合体育大会は、各種目において選手・役員を始め関係者の努力により、総合 3 位という輝かしい成績を収めた。

また、各競技においては、ジュニア選手を始め多数の選手が、近畿大会や全国大会に出場するなど、立派な成績を収め、数多くの優秀な選手を輩出することが出来た。

4 指導者の資質の向上と養成

指導者の育成と資質の向上を図るため、講習会を開催した。

5 スポーツ少年団の育成と拡充

活動強化事業として、他種目交流大会を開催し、社会奉仕活動の実施や団員相互の交流を深めた。

また、公認ジュニアスポーツ指導者並びにリーダーの育成に努めるとともに、情報提供を図った。

6 都市間交流事業の推進

京都市西京区と亀岡市の都市間交流事業の一環として、軟式野球、ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ競技を通して相互の交流を図った。

7 指定管理施設の有効活用

本協会が管理している社会体育施設については、常に施設を安全・安心で清潔な状態で利用者に気持ちよく使用できるよう維持管理に努めた。

また、施設の老朽化に伴い、補修・改善を図った。